

## 鼠径（そけい）ヘルニア外来

毎週火曜日（14：00～16：00）

予約なしで受診できます。

※受付時間は13：30～16：00です。

診察医：岡本佳樹

### ■鼠経（そけい）ヘルニアとは？

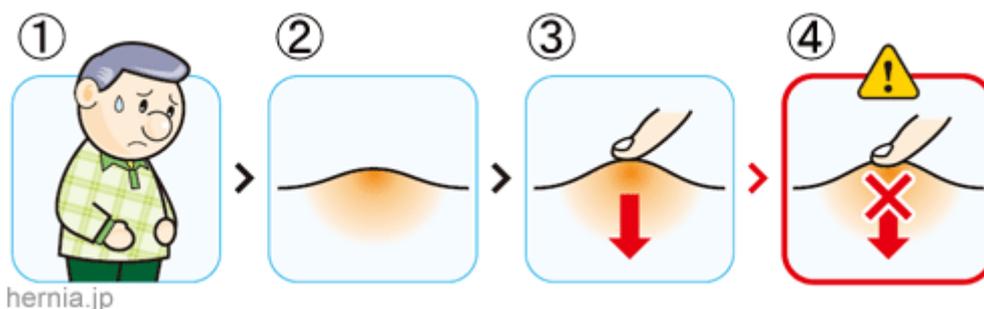
「鼠径ヘルニア」とは、本来ならばお腹の中にあるはずの腹膜や腸の一部が、多くの場合、鼠径部の筋膜の間から皮膚の下に出てくる下腹部の病気です。

一般の方には「脱腸」と呼ばれている病気です。

鼠径ヘルニア（脱腸）は子供の病気と思われがちですが、むしろ成人に多く、手術以外の治療方法はありません。痛みも少なく短期入院で済む新しい手術方法が普及してきており、生活の質を考慮すれば、積極的に治療した方が良い病気です。

初期症状は、立った時やお腹に力を入れた際に鼠径部の皮膚の下に腹膜や腸の一部などが出てきて柔らかい膨らみができますが、普通は指で押さえると引っ込みます。

はれが急に硬くなったり、膨れた部分が押さえても引っ込まなくなることがあり、お腹が痛くなったり吐いたりします。これをヘルニアの嵌頓といい、緊急手術をしなければ、命にかかわることになります。



#### 【鼠経ヘルニアの症状】

- ① 不快や痛みを感じる。
- ② 立った時やお腹に力を入れたとき、鼠径部に柔らかい膨らみを感じる。
- ③ 指で押さえると通常は引っ込む。

- ④ 腫れが急にかたくなり、指で押さえても引っ込まなくなる（カントン）。この場合は緊急手術が必要です。

## ■鼠径ヘルニア（脱腸）になりやすい人

鼠径ヘルニアは、乳幼児の場合はほとんどが先天的なものですが、成人の場合は加齢により身体の組織が弱くなることが原因で、特に40代以上の男性に多く起こる傾向があります。

また、鼠径ヘルニアの発生に職業が関係していることが指摘されており、腹圧のかかる製造業や立ち仕事に従事する人に多く見られます。便秘症の人、肥満の人、前立腺肥大の人、咳をよくする人、妊婦も要注意です。

米国では鼠径ヘルニアで受診する人が年間80万人もいるといわれ、専門の外科医がいるほど一般的な病気です。日本では、多忙のため我慢していたり、「恥ずかしい病気」のイメージがいまだにあって受診を渋っていたり、潜在的な患者様もかなり多いと推定されます。

もし、ご自身の症状が上記に当てはまる場合は、一度、外科を受診しましょう。

鼠径ヘルニアになりやすい人	
<b>加齢</b> ●特に40歳以上の男性	<b>日常生活</b> ●咳をよくする人 ●妊娠している人 ●過激な運動をする人
<b>職業</b> ●お腹に力がかかる仕事 ●立ち仕事に従事する人	<b>病気など</b> ●便秘症 ●肥満 ●喘息 ●慢性肺疾患

## ■鼠経ヘルニアの手術方法

鼠径ヘルニアはお薬では治すことはできません。 下腹部に隆起を認め、不快な症状がある場合は、外科医にご相談ください。

手術はポリプロピレン製メッシュを内側からヘルニアの出口を覆う手術であり、近年、普及してきております。ポリプロピレン製メッシュは50年ほど前から使用され、体内使用の安全性が確認されています。

手術件数

国内の手術件数は年間15万件、患者の8割以上が男性です。

## ■腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術

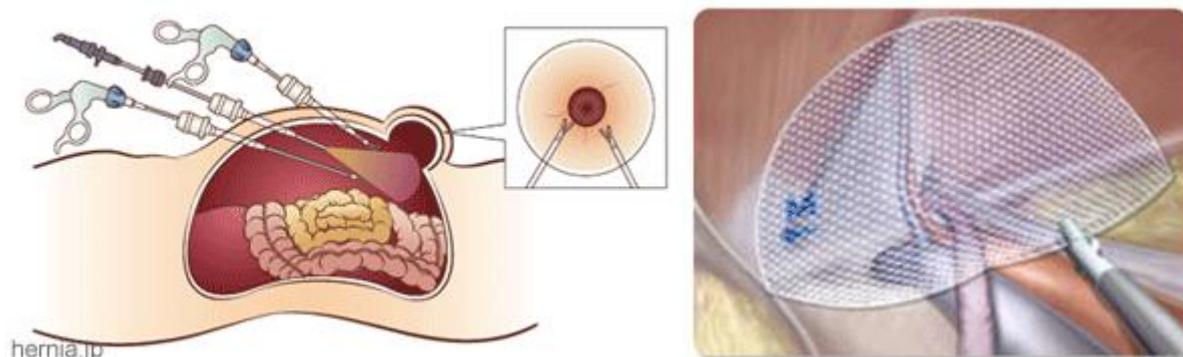
**診察医は、2010年より、『腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術』を導入し、これまでに約1,500例のヘルニア手術を経験しております。**

なお、当院では、

- ・2022年: 18/30例（腹腔鏡下手術/鼠径ヘルニア手術）
- ・2021年: 9/43例
- ・2020年: 7/42例

となっています。

この手術は腹腔鏡を用いて、ポリプロピレン製メッシュで内側からヘルニアの出口を覆う手術であり、近年、普及してきております。



鼠径ヘルニアの手術法の一つに、腹腔鏡（細い管の先端にカメラが付いた手術器具）を使用して手術を行う腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術法があります。1980年代に海外で行われ始めた手術法で、日本でもこの手術を行う病院が徐々に増加しています。

腹腔鏡下手術では、従来から行われているお腹を切開する開腹手術（オープン法）

と異なり、まずお腹に 5mm から 12mm の小さな穴を 3 カ所程度あけます。そのうちの 1 つの穴から腹腔鏡を入れてお腹の中を映します。その像をテレビモニターで観察してヘルニアの場所を見つけ、別の穴から入れた手術器具を外科医が操作して患部の治療をします。

#### 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術のメリット

\*従来法（メッシュを用いない修復法）と比べて

- ・手術創が小さい(一般的に 5mm~12mm の小さな穴が 3 カ所程度)
- ・再発率が低い
- ・術後の痛みが少ない
- ・入院日数が短い
- ・両側にヘルニアが存在していても、同一のキズ（穴）から同時に修復が可能

#### 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術のデメリット

- ・必ず全身麻酔で行う必要がある。
- ・開腹手術と比較すると手術時間が長くなる。
- ・開腹手術と比較すると（頻度は少ないものの）重篤な合併症を生じる可能性がある。

※当院では、腹腔鏡手術の経験豊かな医師が執刀いたします。

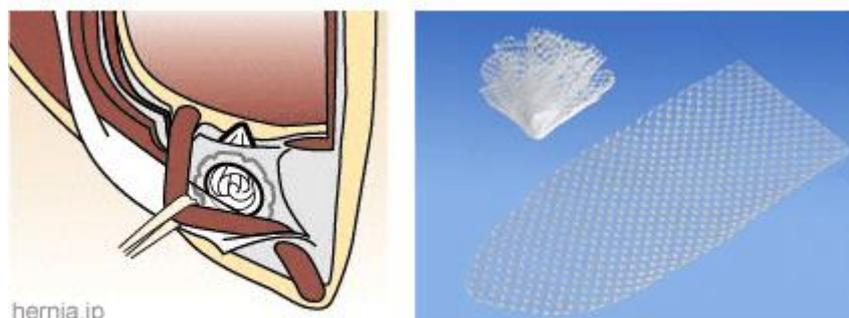
## ■鼠径部切開法（開腹手術）

- ・プラグ法

当院では、鼠径部切開法（開腹手術）も導入しております。

術式は、患者様の病態やヘルニアの状態、ご希望を総合的に判断し決定いたします。

体表から 4~6cm の小切開（開腹）を行い、ポリプロピレン製メッシュを留置します。



プラグ法に用いられる医療機器

## ■手術から日常生活への復帰まで

個人によって回復の程度に差がありますので、手術後の生活については医師の指示に従ってください。

### 【腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術】

- ・術前検査を行います。
- ・手術時間は、1時間～1時間30分程度です。

#### 入院中

- ・術後直後、麻酔の影響による頭痛や吐き気がある場合がございます。
- ・翌日から歩行可能です。
- ・3日後から入浴可能です。

#### 退院後

- ・退院後すぐに、座っての仕事が可能です。
- ・1週間後からゴルフなどの運動を始めても構いません。
- ・3週間後から力仕事を始めても構いません。

## ■手術費用

負担割合が3割の方は17万5千円、2割でしたら12万円、1割でしたら6万5千円程度となります。なお、高額療養費制度を利用することができますので、年収などの条件に応じて減額となる場合があります。

## ■最後に

成人の鼠径ヘルニア（脱腸）は自然に治ることはありません。また、有効なお薬や運動療法もなく、手術のみが”治せる”治療です。

ヘルニアバンド（脱腸帯）を使用している方もいらっしゃいますが、これらは鼠径ヘルニアを治すものではなく、外から押さえることにより、一時的に鼠径ヘルニアの症状を軽くする対症療法です。

最近では、ヘルニアバンドはむしろ圧迫により皮膚障害や精巣（睾丸）萎縮を招くおそれがあるとされており、お勧めできません。

鼠径ヘルニアは良性の病気ではありますが、放置すると嵌頓（かんとん：飛び出した

部分が元に戻らなくなる事)になることがあります、緊急手術が必要になることもあります。嵌頓(かんとん)は鼠径ヘルニア患者さん全体の約5%程度に起こると考えられていますので、スケジュールのよい時期を選び、早めの手術治療を受けましょう。

鼠径ヘルニア患者様向けサイト「そけいヘルニアノート」

<https://www.hernia.jp/>